

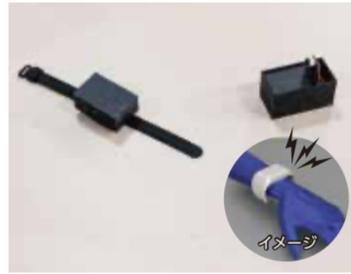
市では、新しいアイデアを持った起業家の卵や、新しい分野での技術開発を目指す企業が次の成長ステップに進む手伝いをしています。

チャレンジ支援

令和3年度 アイデアコンテスト採択

大好きな祖母のために考えた「訪問お知らせ機器」

「こーるばー」は、玄関のチャイム音と連動し、来訪者を振動で知らせてくれる腕時計型機器です。発想の原点は、同居する祖母との会話でした。日中、家で一人で過ごす祖母にとって、訪ねてくる友達とのひとときが何より楽しい時間。それなのに、最近聴力が落ちてチャイムの音が聞こえにくいと、寂しそうに話す祖母を見て、なんとかしてあげたいと、振動で訪問を知らせる機器を思いつきました。このアイデアを応募したところ採択され、IT企業と自動車メーカーの支援や資金援助を受けることができました。発想から企画、設計、試作機製作まで、製品開発の全ての過程を経験できたことは、エンジニアを目指す私にとって大きな財産になりました。多くの支援を得て形になった「こーるばー」。試作機を腕に着けた時の祖母の喜ぶ顔が、今も忘れられません。



＜こーるばー＞
来訪者を振動で知らせる腕時計型機器



北九州工業高等専門学校
生産デザイン学科4年生
原田 知佳さん

成長支援

令和3年度 事業化支援 採択企業

「においの領域」で、千年後に残る技術を生み出したい

周波数や光度で数値化できる音や光に対して、「におい」には数値で表すモノサシがなく、食品工場やワイン醸造の品質試験も、人の嗅覚で判定する方法が今なお主流です。逆を言えば、「におい」の技術はまだ未開拓で、新たな産業創出につながる大きな可能性を秘めています。当社は「ロボットになぜ鼻がないのか?」という素朴な疑問から生まれ、におい技術の可能性を形にする開発に取り組む企業です。本社は東京ですが、出身地である北九州市に事業所を開所し、事業化支援に採択されました。これにより、嗅覚センサーとAI(人工知能)解析を組み合わせるにおいを判定する独自のシステム「オートサンプラー」の開発に取り組み、市内の石鹸メーカーや北九州の特産品・ぬか炊きの会社で品質管理や評価の実証実験を進めることができました。におい領域は未知なる可能性の宝庫。千年後に残る画期的な技術創造を目指し、開発に取り組むたいと考えています。



＜オートサンプラー＞
においを判定する装置



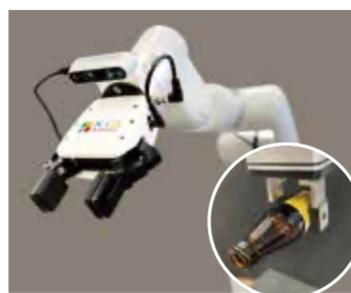
(株)レボーン
代表取締役
松岡 広明さん

成長支援

令和3年度 事業化支援 採択企業

北九州から、「ロボット未来都市」のモデルを広げたい

当社は2019年、誰もが活用できる産業用ロボットの開発を目指して、北九州市で創業した会社です。産業用ロボットを正しく動かすには、ティーチングといって、専門知識に基づく複雑な設定が必要なのですが、当社は比較的容易な設定をするだけで動くロボットの仕組みを考案しました。試作機の製作には多額の資金を要します。そこで市の事業化支援に応募し、資金援助を得ることができました。その後、体験導入を経て実際に購入いただいた企業もあります。市の創業支援は、全国でもトップクラスの充実度です。市の支援がなければ、まだ試作段階で苦労していたかもしれません。当社の目標は、生まれ育った北九州を日本一のロボット未来都市に押し上げること。2年後には産業廃棄物処理システム「クイックファクトリー」を世に出し、処理現場の作業環境を改善するとともにそのノウハウを「北九州発のモデル」として全国に発信したいと考えています。



＜Quick Factory (クイックファクトリー)＞
カメラ付きのロボットアームを備えたシステム



KiQ Robotics(株)
(キックロボティクス)
代表取締役 CEO
滝本 隆さん

創業支援施設

共有して利用できるオフィスや会議室があり、創業や事業拡大の支援を行う施設です。



COMPASS小倉
小倉北区浅野三丁目8番1号
AIMビル6階
☎513・5300
開月～土曜日の9～21時
(土曜日は18時まで)
休日・祝日、年末年始



ATOMica北九州
小倉北区京町三丁目1-1
セントシティ7階
☎600・2782
開10～23時(受付は18時まで)
休年末年始



コワーキングスペース秘密基地
小倉北区京町二丁目2-19
小倉ジャンジャンビル3階
☎967・1003
開月～土曜日の8時30分～21時
(当面の間、土曜日は18時まで)
日・祝日の10～18時
休年末年始

スタートアップ
支援ポータルサイト

市の創業支援に関する情報を集約して発信しています。支援メニューや支援施設、市内の起業家の紹介などを行っています。



▲スタートアップ支援ポータルサイトはコチラから

この特集に関するお問い合わせ 産業経済局スタートアップ推進課 ☎551・3605